

青森からお届けします！



新年明けましておめでとくございます。
 新しい年を迎え、皆様いかがお過ごしでしょうか。
 昨年の6月、新設作業倉庫が完成し竣工式が行われ、
 心機一転 スタートしました。
 これはひとえに皆様方のご支援の賜物と感謝
 申し上げます。約60坪のスペースの中には、先世代選果機
 冷蔵庫、発送作業場を配置しました。
 りんご果物などの選果や出荷、研修など地域の
 農家さんにも活用していただきたいという思いも入った倉庫
 です。
 りんごや人にも優しく、作業しやすい空間になりました。
 よりお客様へ喜んでいただけるりんごをお届けして
 いきたいと思っております。今年もよろしくお願いたします。大湯 長

「りんご品評会」に出品して

数ある農家さん達が自分の丹精込めて作った
 りんごを発表し合う品評会！
 今年大湯ファームは、「銅賞」を頂きました！
 初めて自分も出品するりんごを選ぶ一人として
 携わることができました。結果を聴いて胸が熱く
 なりました。仲間と大切に育ててきたりんごが賞を
 いただけるという結果に繋がり、栽培技術に
 より一層力を入れたい
 と素直に思いました。

自然と語り合う事に
 ゴールはないので、
 また今年も、全力で
 喜ばれるりんごを
 作るために精進
 したいです！ 工藤



りんごの剪定 

12月中旬から剪定を始めています。
 りんごの剪定は【1000本切って1人前】や
 【一生学ぶもの】と例えられます。
 自分も本当にそう感じます。

りんごは同じ樹形の木がありません。
 剪定の基本はありますが、1本1本りんごの木にも
 個性があるので、剪定方法が違ってきます。
 なので、何年やっても悩みます。

昨年からは自分が学んできたことを後輩に
 教える事もしています。

共に学んで教え
 あいながら、喜んで
 いただける、りんご
 作りに繋げていき
 たいです。 佐藤



りんごの木の雪下ろし 

一晩で一気に70cmも雪が積りました。
 そんな中、剪定作業が始まりました。
 園地へ行ってみると木に大量の雪が積
 もり、枝をしならせて重みに耐えて
 いるようでした。

雪の重みで枝が折れないように、剪定の
 前に「雪下ろし」をしました。雪下ろし
 は、かなり体力がいる作業ですが、
 りんごの枝を守っていきたいです。 對馬

